

第1回保育について語ろうデーのお知らせ

令和元年5月22日(水) 実施しました！



香川大学教育学部 附属幼稚園

参加者：幼稚園教員 坂出市 1名
丸亀市 2名
小学校教諭 丸亀市 1名

共に語りあった方：金子之史先生



9:15	保育公開
11:30	降園
12:00	昼食会・自己紹介
13:15	協議1 保育について
15:00	協議2 事例検討
16:30	終了



語り合ったことのお知らせします！

【5歳児の帰りのひとときの様子から】

年中児の頃から親しんできた貨物列車。これまでは、「〇〇ちゃんとじゃんけんをしたい」「どうしても先頭になりたい」など、様々な思いがぶつかることがありました。しかし、今日、初めて保育者の直接的な援助を得ず一つの列車になれたのです。今日は、みんなの思いが繋がった記念の日になりました。

では、どうして、今日繋がることができたのでしょうか。A児やA児を取り巻く周りの子供たちの姿から、5歳児の子供たちの育ちについて考えていきました。

【遊びこめる生活について～朝の会って必要？～】

朝の会が、遊びを中断させていることはないでしょうか。これまで、朝の会をする生活が当たり前だと思っていて、必要性やよりよいやり方等について話し合ったことがなかったのかもしれない。

何のために朝の会をするのか、「遊びこめる生活」になるためにどう取り入れるとよいか、発達段階に応じた取り入れ方はどのようなものか、さらにはその必要性について話し合いました。

【語ろうデーに参加して感じたこと ～参加者アンケートより～】

- 自分の言葉で保育について語ったり、「その時の子供の気持ちは？」と掘り下げて協議を進めたりしていく附属幼の先生方が印象的です。正解を求めるのではなく、様々な考えを出し合いながら考えていく雰囲気大切にしたい。(20代Aさん)
- 遊ぶ時間がたっぷりあり、子供たちは心から遊びを楽しんでいた。先生方は、今までの子供の育ちの過程からねらいをはっきりもち、ともに遊びを楽しんでいた。私の園でも主体的な遊びについて話したい。(20代Bさん)

次回は、6月19日(水)附属幼稚園(坂出)です。